事業所名	音のあそび場　ふるーと	支援プログラム	作成日	7 年	1 月	25 日

法人（事業所）理念		経営理念：音楽を通して個性を大切にした療育を行います								
支援方針		ピアノや楽器、いろいろな音を使って音を楽しみながら子供たちの「強み」や個性を発見して伸ばしていく、また歌やダンス等の活動により発語を促し、豊かな表現力を身に付け 苦手や不得意を少しづつ克服しながら、集団活動等における「ソーシャルスキル」向上をめざします。								
営業時間①		平日	10 時	0 分から	19 時	0 分まで	送迎実施の有無	(あり)	なし	
営業時間②		学校休校日	9 時	0 分から	17 時	0 分まで	送迎実施の有無	(あり)	なし	
		支　援　内　容								
本人支援	健康・生活	○生活リズムの形成…更衣・排泄等の基本的な生活リズムや習慣を身に付けられるよう支援する。また、特性にあわせた個別のスケジュール表を掲示して視覚情報により見通しを分かりやすくアプローチする。 ○健康状態の把握…検温・排泄等の常なるチェックと発達の過程・特性等に配慮し、細かな観察を行い、体調に変化がある場合には適切な対処を行う。（保護者への連絡等）								
	運動・感覚	○姿勢と運動技能の向上…トランポリン・公園あそび（ボール遊び・鬼ごっこ・縄跳び等）・ダンスにより体幹を鍛え運動技能の向上を図る。 ○和太鼓活動…粗大運動による姿勢保持や課題楽曲習得による「協調性」「自己表現力」「積極性」「機能回復強化」の向上。 ○工作・個別課題の取り組み…ハサミ・絵具等を使って巨大壁面の作成や人形の着せ替えを行い、ボタンやファスナーの習得を図る。								
	認知・行動	○認知機能の発達を促すために音楽（ピアノや楽器）を使って体を動かしながら感覚を十分活用出来るプログラムを取り入れる。 ○ブロックやパズルを使って創作を行い、形や色の違い等の習得を図る。 ○集団活動でのコミュニケーションの困難性から生ずる行動障害に対して、環境を調整して適切行動の獲得に向けた適切な支援を行う。								
	言語 コミュニケーション	○音楽療法…音楽療法士によりピアノ・楽器を使って歌やリズム遊び等を楽しみながら、自発的な発声や他者とのコミュニケーション手段の選択を促す支援プログラムの立案。 ○言語聴覚士…言語聴覚士による小集団での療育プログラムを実施。（月2回程度）								
	人間関係 社会性	○お買い物…事業所内でのおやつ等の模擬買い物体験によるお金の計算やルールの習得。 ○お出かけ…外出時の交通ルールや事業所外における他施設でのルールの理解、集団活動（行動）の自発的な参加や一人遊びから協同遊びへの社会性の発達を図る。								
家族支援		○半年に１回対面での保護者面談 ○相談支援専門員との定期的な支援会議や支援計画の調整					移行支援	○個々の特性に配慮しながら具体的な移行先を想定し、家族への情報提供や、移行先との支援方針や支援内容の共有、伝達を行う		
地域支援・地域連携		○医療機関や児童相談所等の専門機関との連携					職員の質の向上	○自治体や支援関係団体が実施する研修等へ参加 ○事業所においての定例会議等実施や研修等への受講		
主な行事等		○和太鼓活動　○トランポリン　○外出（レクリエーション活動・買い物等）　○音楽発表会（年１回程度）　○季節のイベント（クリスマス会・夏祭り等） ○収穫体験（いも堀）								